R８ ひとり暮らしふれあい昼食会

１１月１２日に、「ひとり暮らしふれあい昼食会」を開きました。

今年も昨年と同じように、弁当を会場で、みなさんいっしょに召し上がっていただく「*昼食会*」としました。９０名ほどの参加がありました。



はじめに、楠地区で活動している民生委員児童委員と主任児童委員の紹介がありました。上の写真には赤いジャンパー姿が２８名映っています。残念ながら１名の委員が都合で欠席していましたので、楠地区は総勢２９名の委員が、それぞれ担当の地区を中心に日々活動しています。

今回は食事の前に、二胡（にこ）の演奏で楽しんでいただきました。

二胡は、中国北方の遊牧民の弦楽器がもとで、その後発展して現在の形になったと考えられているそうです。



演奏は「ひびき」というグループの方々です。歌謡曲・映画音楽・クラッシックなど、いろいろのジャンルの曲が、二胡特有の伸びのある音色で会場全体に響き渡りました。




つぎに、「ゆりかもめ」の職員さんから、お話やパタカラ体操をしていただきました。

　マイクの調整が話し言葉に合っていなかったようで、うまく声が伝わりませんでした。申し訳ありませんでした。



　弁当は、いつものように「コスモス」の方々がつくっていただきました。さらに、民生委員がつくった豚汁もつきました。

　今回の弁当も、たくさんの種類の食材がつかわれ、美しく盛り付けられていて、食欲がいっそう増します。




　豚汁は、女性の民生委員さんが準備をして、当日の朝から調理をしていただいたものです。



　食事のあと、レトルトごはん、レトルトカレー、即席ラーメン、スパゲッティー（乾麺）などをランダムに詰めあわせたものを、一袋ずつ持ち帰っていただきました。この食品は、フードパントリーという「食の支援」をする四日市市の活動の一環として提供されたものです。